

留学生日本語スピーチコンテスト 金紅梅さん(商1・中国)が1位



スピーチコンテスト出場者と審査の先生方

第3回専修大学留学生日本語スピーチコンテストが12月3日、生田キャンパスで開催された。「日本に来て気づいたこと」を演題に、外国人留学生がスピーチを繰り広げた結果、商学部会計学科1年次の金紅梅さん(中国)が1位となった。

コンテストは湯進くん(経営4・中国)の司会進行で5人の留学生が出場。大林守国際交流センター長ら6人の教職員が審査した。出場者は日本の伝統、文化、習慣や現代の日本の姿に接したことでの印象、日本人とのコミュニケーションについて感性豊かに表現した。

1位となった金さんは、アルバイトからの帰り道、雨降りのなかで出会った年配女性との数分間の交流を、滑らかな日本語で披露した。

「たった一言かけられた言葉が、私を幸せにしてくれた。それまで冷たいと感じていた日本人への印象がガラリと変わりました。何気ない一言によって人を感動させることもあれば、傷つけることもある。人と人との心を結び付けてくれる言葉を、大切にしていきたい」と締めくくると、会場はひととき大きな拍手に包まれた。2位以下の入賞者は次の通り(敬称略)。

・2位＝楊志明(法1・中国)・3位＝アンヤ・ロゼ(特別聴講生・ドイツ)・入賞＝簡世峰(商4・台湾) 同＝花麗娜(商2・中国)

[12月15日/ニュース専修10面]

自分色発見 パーソナルカラーを見つけよう



実際に色を当てながらパーソナルカラーを探していく

11月27日、神田キャンパスで「自分色発見 パーソナルカラーを見つけよう」(学生相談室主催)が行われた。21人の学生が参加し、色に対する理解を深めていた。髪・皮膚・目などの色の違いから生まれる各自のパーソナルカラー(自分に一番似合う色)探しを通じて自分を再発見しようとする企画で、今年で2回目。

講師はカラリストスクール・ワムI・C・Iの認定講師、富永日鶴さんと児矢野節子さん。富永さんは「パーソナルカラーは大別して4種類に分けられ、合う色は清潔感を、合わない色はマイナスイメージを与えま

す」と色の大切さを説明。参加者は、自分が4種類のどれにあたるかを探し、両講師が実際に色を当て、一人ひとりのパーソナルカラーを決定していった。木下奈美さん(文3)は「普段着ている服の色とパーソナルカラーが一致してよかった」と話していた。

最後に「パーソナルカラーがビビッド系(生き生きとした鮮やかな色)の人でも、ワイシャツや小物を工夫することで、イメージアップの変化が図れます」など、アドバイスをした。

【12月15日/ニュース専修10面】

[【ニュース専修ウェブ版トップに戻る】](#)

秋季全国大学対抗簿記大会 個人2級で青木くん(商1)が満点優勝

団体2級は計修会1年次チームが2位

簿記のインターカレッジ「秋季全国大学対抗簿記大会」(主催＝大原簿記専門学校、後援＝毎日新聞社、イタリア大使館)が11月19日、全国15会場で開催された。

過去最高の107大学1576人が参加。専大勢は、個人戦2級の部で青木一茂くん(商1)が満点優勝を飾り、団体戦2級の部では計修会の1年次生チーム(赤岡慎也・経営、河原田真・商、高井重和・商、永井健太・商、美濃和良一・商＝敬称略)が2位となった。

青木くんは「模擬試験のつもりで出場したので結果に驚きました。両親は喜んでくれました。2級を持っている友だちからアドバイスをもらえたことが良かったのだと思います」と話し、翌週に行われた。日商簿記検定2級試験にも合格。「今後は在学中に1級を取得出来るように頑張ります」と抱負を語った。

[12月15日/ニュース専修10面]